



●まちづくり協議会組織図

まちづくり協議会

●目的 既存の自治会などの単位で対応が困難な課題に対し、地域住民の皆さんが自主的・主体的に協議し解決していくことで自立したまちづくりを行う

●構成員 地域住民（自治会、民生委員、PTA、老人クラブなど）、地域内の事業所、その他地域で活動している団体

●役員 会長、副会長、会計、監事、部長、副部長、事務局など

●事務所 各地域内の公共施設や自治会集会所など

専門部会

●目的 協議会の活動がスムーズに行えるように専門部会を置き、部会は事業計画予算などについて専門的に協議し、事業の成果の検証を行う

●構成員 協議会構成員

（設置部会の例）

総務部会

防犯・防災部会

環境部会

福祉部会

教育部会

文化部会

スポーツ部会

地域づくり
についての
意見・要望



協働のまち
づくり



人的支援
情報提供
財政支援

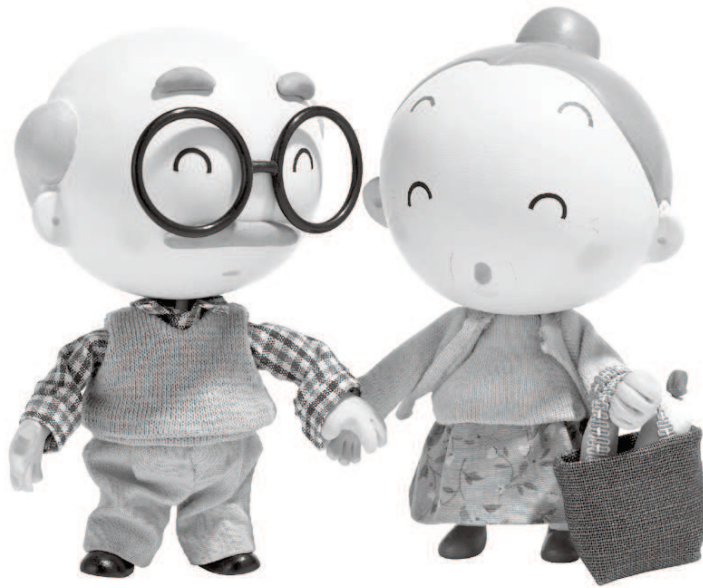


地域振興課
国際交流市民活動係

連絡・調整



担当課



市内でも仲良しで有名な、おしどり夫婦の燕作（えんさく）おじいちゃんとおばあちゃん。今日も一緒に手をつないで、買い物に行った帰り道ようです。そんな二人にとって、最近一番ホットな話題は「まちづくり協議会」。いったいどんなことを話しているのでしょうか。コッソリ聞いてみちやいましょう。

まちづくり協議会って なんじゃろう？

魅力ある地域を自らし、市内13の地域で活躍している『まちづくり協議会』。その活動内容についてお知らせします。

どうして「まちづくり協議会」が設立されたのですか？

「なあ、ばあさんや、最近まちづくり協議会が話題のようじゃが、いったいどんなことをしてるんじや？ わしにはさっぱり分からん」

「あのね、おじいさん、わたしたちを取り巻く社会環境は、めまぐるしく変化しているの。生活圏は、昔とは比べものにならないほど広くなり、少子高齢化もどんどん進みました。環境問題がこんなに話題になるなんて、おじいさんも若いころは想像してな

協議会を構成しているのはだれなんですか？

「じゃあ、その協議会を構成するのはだれなんじや？ わしもばあさんもその中に入っているのか？」

「そうよ。地域で暮らす全員が構成員なの。さらに地

て昨年合併して、行政区域が大きくなったじゃない。地域の声が、行政に届きにくくなるんじやないかと心配する声があったのも事実なの」

「それが協議会設立とどう関係するんじや？」

「これを機会にもう一度、わたしたち一人ひとりが自分たちの暮らす地域を見つめ直さなければいけないの。『今、この地域に必要なことは何か』を問題提起し、自分たちの手で解決する方法を考えていく仕組みを確立していかなければならないんです。そのシステムの一つが『まちづくり協議会』で、市内の一定の地域を単位に活動しているのよ。」

協議会の活動とはどんなことなんですか？

「じゃあ、わたしは協議会を何ですればいいんじや？」

「まず最初に、魅力ある地域づくりを実現するため

自治会や民生児童委員、PTA、老人クラブなどの皆さんからも参加してもらおうことが、協議会の活動にとって大切なことなのよ」

「何？ じゃあ自治会などの活動は意味がなくなってしまうんじやないのか？」

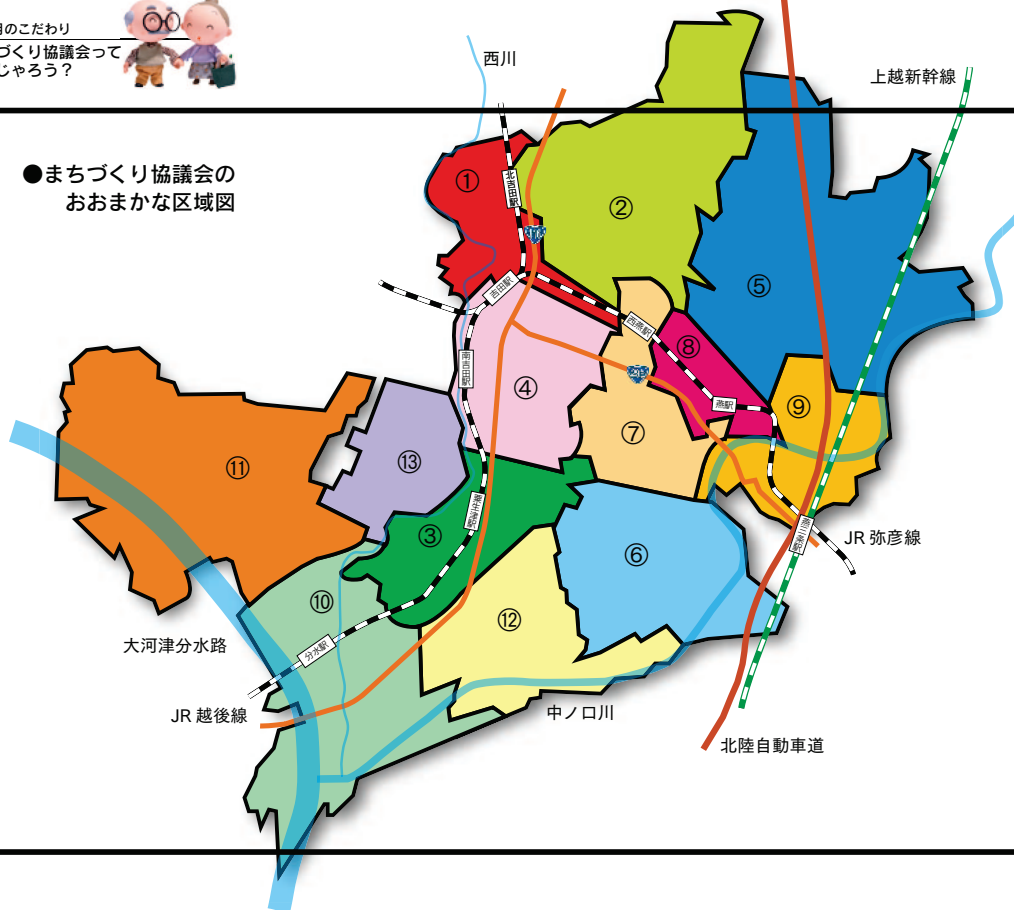
「そんなことないわ。協議会は構成員となる各種団体の活動を否定するものではありませんよ。あくまでも、自治会などの単位では対応が難しい課題や、ある程度大きな区域で行った方が効果的だと考えられる地域活動などに取り組むためのものなの。それ以外のものについては、これまでとおり引き続き活動し、さらなる活性化を図っていくべいいし、結果的には、それが協議会の発展につながるものになるのよ」

かったでしょ？ さらに、地域性の違いや、いわゆるわたしたちの住民ニーズというものも、どんどん多様化・高度化し、一つの自治会単位ではとても対応しきれない状況が生まれているのが現状なのよ」

「何を言ってるか。今までだって自治会を中心に、地域のみんなが協力しあって、頑張ってる活動してきたじゃないか」

「そんなことわたしだって分かってるわよ。でもね、平成の大合併で、新潟県内に112あった市町村は35に統合されたでしょ。燕市だっ

●まちづくり協議会のおおまかな区域図



●まちづくり協議会一覧（設立年月日順に掲載）

No.	名 称	設立年月日	事務所	人口（人） （平成 19 年 4 月 1 日現在）	世帯数	自治 会数
①	吉田地区まちづくり協議会	平成 17 年 7 月 18 日	吉田婦人会館	9,380	3,127	21
②	吉田北まちづくり協議会	平成 17 年 7 月 22 日	吉田北体育文化センター	4,855	1,399	19
③	粟生津地区協議会	平成 17 年 7 月 26 日	粟生津体育文化センター	2,598	679	11
④	吉田南地区協議会	平成 17 年 8 月 9 日	吉田産業会館	7,891	2,701	14
⑤	燕北地区まちづくり協議会	平成 17 年 11 月 13 日	小中川公民館	9,894	2,948	22
⑥	燕第一地区まちづくり協議会	平成 17 年 11 月 27 日	小池公民館	11,351	3,393	13
⑦	燕西地区まちづくり協議会	平成 17 年 12 月 18 日	西燕公民館	8,544	2,718	11
⑧	燕中央まちづくり協議会	平成 18 年 2 月 5 日	藤の曲公民館	6,353	2,124	20
⑨	燕第二地区まちづくり協議会	平成 18 年 2 月 26 日	南公民館	7,784	2,792	15
⑩	分水小学校区まちづくり協議会	平成 18 年 8 月 23 日	分水福祉会館	9,245	2,925	48
⑪	分水北地区まちづくり協議会	平成 18 年 8 月 25 日	中島ふれあいセンター	2,862	794	11
⑫	島上地区まちづくり協議会	平成 18 年 10 月 26 日	横田区民会館	2,352	617	2
⑬	四箇村まちづくり協議会	平成 18 年 11 月 9 日	四箇村ふれあい館	1,204	288	4

●まちづくり協議会についての問い合わせ
地域振興課国際交流市民活動係（吉田庁舎）
☎ 0256-92-2111 内線 251・252

●大河津です
「もしもし、大河津さん。急にお電話差し上げてごめんさいねえ。ちょっと教えてほしいことがあるのよ。まちづくり協議会について市の方で考えている支援があったら教えてほしいの」
「はい、分かりました。簡単にご説明しますね。市としては、協議会の抱える課題について、お互いに意見を出し合いながら協働で解決していくことが大切だと考えています。具体的には次の3つの支援を用意しています。」
●人的支援
各協議会で作成する予算書から決算書作成のアドバイスや打合せへの参加など、地域振興課国際交流市民活動係が窓口となって支援します。
●財政支援
各協議会の活動に対して、毎年度200万円を上限として平成18年度から平成20年度までの3年間補助金を交付します。（補助金に不用額が生じた場合は返還をお願いします。）その後は、各協議会の意見を十分考慮しながら補助額の見直しをします。

●情報提供
各協議会の活動がスムーズに行えるように、先進的な取り組みをしている団体の資料などの情報提供を行います。
「なるほど、そういう支援を用意してくれているのね。大河津さん、どうもありがとうございます。どう？ これでおじいさんも、協議会について少しは分かったんじゃない？」
「そうか。地域で暮らすみんなと一緒に考え、実行する。市のほうも支援をしながら、むしろ積極的に地域のまちづくりをバックアップしてくれるんじゃない？」
「なんでも、5月15日号の『広報つばめ』から、毎月一つずつ順番に、協議会の活動を紹介してくれるらしいわ。楽しみね」
「そうかい。他の協議会がどんな活動をしているのかとても興味あるし、うちの協議会にとっても、今後の取り組みの参考になりそうじゃないか」
【今月のこだわり】 終わり

に、地域の皆さんの理解と協力を欠かすことはできないということ。さらに、みんなの意見や考え方、目的などが一致してはじめて、協議会と行政が協議会ができることは何か、行政がすることは何か」ということを明確にできると思うの。お互いが手と手を取り合い、試行錯誤しながらその地域にとって一番適切なテーマを導き出していくことにつながるとわたしは思っているわ」
「何だか難しい話じゃのお。具体的にどんな活動をすればいいんだ？ 教えておくれよ」
「そうねえ。例えば『あいさつ運動』や『児童の見守り活動』『地域の茶の間』などよね。わたしたちの生活の中から身近なテーマを掲げ、そこから少しずつ活動の輪を広げていくことが、協議会にとって必要な、当面の取り組みだと思うの」
「なんだかちょっと地味な感じじゃないか。もっと、こうパワッと大きなことはできないのか」
「あ、そうね。例えば『あいさつ運動』や『児童の見守り活動』『地域の茶の間』などよね。わたしたちの生活の中から身近なテーマを掲げ、そこから少しずつ活動の輪を広げていくことが、協議会にとって必要な、当面の取り組みだと思うの」

「まったく、何言ってるんですか。地道に活動を継続していくところが、薄れかけていた地域の連帯感を深めるために大切なことなの。そこに新しいアイデアが加わることで、わたしたちのような年寄りから子どもたちまで、全員が笑顔で暮らせる地域を目指していけるのよ」
「行政の支援体制はどうなってるのですか？」
「しかし、むしろだけが一生懸命やっただけでダメじゃろう？ 市のほうでは何かしてくれるのかね？」
「そうねえ。それについては市役所の大河津さんに電話で聞いてみましょうか」
ブルブル：「はい、燕市役所地域振興課」